

事務連絡  
平成 28 年 4 月 26 日

各都道府県建設業協会 事務局 御中

一般社団法人 全国建設業協会  
事業部

**2016 建設リサイクル技術発表会・技術展示会の  
開催連絡、提案事例及び出展者募集について（お知らせ）**

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は本会の活動に対しまして、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、建設副産物リサイクル広報推進会議より、10 月に開催される「2016 建設リサイクル技術発表会・技術展示会」の開催、技術発表会での提案事例の募集、及び技術展示会の出展者募集について案内がございました。

本技術発表会・技術展示会は、建設リサイクルの更なる普及と促進にむけて、関係者（工事発注者、建設工事施工者等）に対する意識啓発と建設リサイクルの推進に有用な技術情報等の周知・伝達、技術開発の促進、一般社会に向けての建設リサイクル活動の PR を目的とし、毎年開催されています。なお、技術発表会での提案事例につきましては、今年が初めての募集となるとのこととございます。

つきましては、必要に応じ、貴会会員企業へご案内いただきますようお願い申し上げます。

以上

**【添付資料】**

- ・【別添 1】「2016 建設リサイクル技術発表会・技術展示会」開催概要（案）
- ・【別添 2】技術発表会提案募集要項
- ・【別添 3】技術展示会出展募集要項

※詳細は、建設副産物リサイクル広報推進会議ホームページ（下記）をご参照ください。

<http://www.suishinkaigi.jp/diffuse/presentation.html>

担当：事業部 森  
TEL：03-3551-9396  
FAX：03-3555-3218  
e-mail：jigyo@zenken-net.or.jp

# 「2016 建設リサイクル技術発表会・技術展示会」 の開催概要(案)

## ○ メインテーマ

『 キックオフ

「2020年、日本の建設リサイクルは新たなステージへ

～ 東京から全国そして世界へ発信 ～」 』

## ○ 開催日時

【技術発表会】平成28年10月5日(水)13:00～16:45

【技術展示会】平成28年10月5日(水)10:00～17:00

平成28年10月6日(木) 9:30～16:00(平成28年度土木研究所講演会  
と同一会場で開催予定)

## ○ 開催場所

一橋大学一橋講堂 (東京都千代田区一ツ橋2-1-21学術総合センター内)

## ○ 目的

建設リサイクルの更なる普及と促進に向けて、関係者(工事発注者、建設工事施工者等)の意識啓発と建設リサイクルの推進に有用な技術情報等の周知・伝達、技術開発の促進及び一般社会に向けて建設リサイクル活動の取り組みをPRすることを目的として開催します。

## ○ 入場料 無料

## ○ 技術発表会プログラム(案)

・特別講演

・技術発表:建設リサイクルへの取り組み工事の事例発表

・学生ワークショップ報告

・パネルディスカッション

提案募集結果を報告

・技術展示表彰式

## ○ 主催

建設副産物リサイクル広報推進会議

関東地方建設副産物再利用方策等連絡協議会

## 「東京から全国そして世界へ発信する先進的な建設リサイクルの取り組み・技術」

## ＜提案募集要領＞

1. 提案募集内容(1) 取り組み・技術の内容（テーマ）

全国そして世界へ発信するのにふさわしい先進的な建設リサイクルへの取り組み・技術で次のいずれかに該当するものとします。（国土交通省等中央官庁、地方公共団体の建設リサイクル関係施策以外）

- ① **発生抑制**  
建設副産物発生量の抑制に資する取り組み・技術。現場内利用による現場外搬出量削減の取り組み・技術も対象とする。
- ② **リ・ユース**  
建設廃棄物を再使用（リ・ユース）する取り組み・技術。
- ③ **再生資材**  
建設廃棄物を原材料とする新たな再生資材の技術開発、従来は新材を使用していた用途への再生資材の利用等、再生資材の利用拡大に資する取り組み・技術。
- ④ **CO2削減**  
特にCO2削減効果が高い取り組み・技術。
- ⑤ **「レガシー」**  
東京オリンピック・パラリンピック等注目される事業の「レガシー」として世界へ発信するのにふさわしい取り組み・技術。提案に際しては、対象となる事業等を具体的に例示する。
- ⑥ **東南アジア等開発途上国の建設リサイクル推進に寄与（建設リサイクル展海外展開）**  
東南アジア等開発途上国の建設リサイクル推進に寄与できる取り組み・技術。相手国の状況に応じて、日本の建設リサイクルへの取り組み・技術を改良したものを含む。既に海外で実績があるものに加えて、今後実施可能と想定されるものも含む。
- ⑦ **その他**  
上記以外で全国そして世界へ発信するにふさわしい取り組み・技術。

※地方での取り組み・技術で全国に発信するものも提案対象とします。

⑤以外は、具体的な事業・工事での事例を求めるものではありません。業界団体や個別企業（支社単位などでも可）での取り組み・技術に関する提案を求めるものです。

(2) 取り組み実施・技術開発段階（時期）

募集する先進的な建設リサイクルへの取り組みの実施・技術開発段階（時期）は次のいずれかとします。

- a. 既に実施済の取り組み、既に実用化済の技術
- b. 2020年までに実施可能な取り組み、実用化可能な技術
- c. 取り組みの実施時期、技術の実用化可能な時期が2020年以降となるもの  
又はアイデア段階のもの  
(⑤「レガシー」を提案する場合はa, bに限定する)

2. 提案募集期限

平成28年6月17日（金）17時（必着）

3. 提案に係る著作権

提案の著作権に関する権利は提案者に帰属するものとします。

ただし、建設副産物リサイクル広報推進会議は「4. 提案募集審査と結果公表」に示す事項について、提案内容などを使用できるものとします。

## 4. 提案募集審査と結果公表

(審査)

いただいた提案については、学識経験者及び国土交通省等工事発注機関をメンバーとする「提案審査会（仮称）」において、提案募集趣旨「全国そして世界へ発信するのにふさわしい先進的」を審査基準として審査します。

(審査結果公表等)

「提案審査会（仮称）」において審査基準を満たすと判断された提案については、提案集として資料にとりまとめ、平成28年10月5日の技術発表会にて公表・配布するとともに、建設副産物リサイクル広報推進会議HP（英語版含む）にて海外も対象として情報発信します。（英語版HPは2019年度までに作成予定）

資料とりまとめ、HP掲載に際しては、事務局より提案者に連絡させていただくとともに、内容等について調整させていただくことがあります。

また、機関紙編集会議の承認のもと、必要に応じて「建設リサイクル」へ記事を執筆していただくことがあります。この場合は、原稿料をお支払いします。

さらに、取組み実施・技術開発段階（時期）が「b. 2020年までに実施可能な取り組み、実用化可能な技術」及び「c. 取り組みの実施時期、技術の実用化可能な時期が2020年以降となるもの又はアイデア段階のもの」については、（一財）先端建設技術センター「先端建設技術研究開発助成」の候補として推薦することがあります。

※先端建設技術研究開発助成については次を参照

<http://www.actec.or.jp/support/>

## 5. 建設リサイクル技術展示会の出展者募集

4月下旬より「建設リサイクル技術展示会」の出展者募集を行います。詳細は広報推進会議ホームページ（<http://www.suishinkaigi.jp/>）よりご確認ください。

## 6. 提案様式入手方法

次のいずれかの方法にて提案様式を入手願います。

- (1) H P : <http://www.suishinkaigi.jp/>（広報推進会議ホームページ）よりワードファイル又はPDFファイルをダウンロード願います。
- (2) F A X : 問合せ先のF A X番号へ入手依頼願います。（注1）
- (3) 郵 送 : 82円切手を貼った返信用封筒を同封し、問い合わせ先の住所宛て郵便にて入手依頼願います（注1）。

## 7. 提案様式送付要領

次のいずれかの方法にて提案様式を送付願います。

- (1) e-mail : 問合せ先のe-mailへ送付願います。（注1）
- (2) F A X : 問合せ先のF A X番号へ送付願います。（注1）
- (3) 郵 送 : 問合せ先の住所へ送付願います。（注1）

## 8. 問い合わせ先

建設副産物リサイクル広報推進会議 事務局  
〒112-0012 東京都文京区大塚2丁目15番6号 ニッセイ音羽ビル4F  
（一財）先端建設技術センター 企画部 担当：新妻、高野、松坂  
e-mail : [kensetu-fukusan@actec.or.jp](mailto:kensetu-fukusan@actec.or.jp)  
TEL : 03-3942-3991 / FAX : 03-3942-0424

注1: 件名を「東京から全国そして世界へ発信する先進的な建設リサイクルの取り組み・技術提案」と明記してください。

※: 頂いたご提案に対する個別のお問い合わせ・回答は致しません。

※: 頂いたご提案内容については、住所・電話番号・e-mailアドレスを除き公開される可能性があることをご承知おきください。匿名を希望される方は提案様式にその旨、明記してください。

# 「東京から全国そして世界へ発信する先進的な建設リサイクルの取り組み・技術」提案様式

送付先：建設副産物リサイクル広報推進会議事務局（（一財）先端建設技術センター企画部）行

E-Mail：[kensetu-fukusan@actec.or.jp](mailto:kensetu-fukusan@actec.or.jp) F A X：03-3942-0424

（FAXで送付する場合は、送信シートは必要ありません）

提案者	所属組織名	
	所属組織住所	
	所属部署・役職	
	氏名(フリガナ)	( )
	連絡先	e-mail： 電話番号：
匿名について (どちらかに○)	希望する ・ 希望しない ※無記入の場合は、住所・連絡先を除き公開を了承したものとみなします。	
提案する 取り組み・ 技術	タイトル	
	テーマ区分 (いずれかに○)	①発生抑制 ②リ・ユース ③再生資材 ④CO2削減 ⑤「レガシー」 ⑥建設リサイクルビジネス海外展開 ⑦その他
	取り組み実施・ 技術開発段階 (いずれかに○、テーマ区分⑤はCを選択できません。)	a. 既に実施済の取り組み、既に実用化済の技術 b. 2020年までに実施可能な取り組み、実用化可能な技術 c. 取り組みの実施時期、技術の実用化可能な時期が2020年以降となるもの 又はアイデア段階のもの
	具体的内容	(添付資料がある場合でも具体的内容をご記入ください。)
	⑤「レガシー」をテーマとする場合は、対象となる事業を具体的に例示すること	
	全国そして世界へ発信するにふさわしい理由・アピールポイント	

※資料があれば添付すること。

※提案が複数ある場合は、提案ごとにこの様式を作成すること。

## 日本及びEU主要国の建設廃棄物リサイクル率

	国名	データ年次	建設廃棄物(建設汚泥を含まない) リサイクル率 (%)
EU (注1)	ベルギー	2012 暦年	97
	ドイツ	2012 暦年	96
	オランダ	2012 暦年	93
	英国	2012 暦年	86
	イタリア	2012 暦年	76
	スペイン	2012 暦年	68
	フランス	2012 暦年	63
	日本 (注2)	2012 年度	97 (96)

注1: EU各国データは次のHPの国別報告書より建設副産物リサイクル広報推進会議事務局が整理。  
[http://ec.europa.eu/environment/waste/studies/mixed\\_waste.htm](http://ec.europa.eu/environment/waste/studies/mixed_waste.htm)

リサイクル率は小数点以下を切り捨てて整数で表示。

EUの建設廃棄物の定義には日本の建設汚泥が含まれていないため、上表のリサイクル率には建設汚泥を含まない。

注2: 日本のデータは、国土交通省「平成24年度建設副産物実態調査結果」  
 ( )内は建設汚泥を含む建設廃棄物リサイクル率。

# 2016 建設リサイクル技術展示会 出展募集要領

## 1. 開催概要

### ● 名称

2016 建設リサイクル技術展示会

### ● 主催

建設副産物リサイクル広報推進会議  
関東地方建設副産物再利用方策等連絡協議会

### ● テーマ

キックオフ

「2020年、日本の建設リサイクルは新たなステージへ  
～ 東京から全国そして世界へ発信 ～」

### ● 目的

建設リサイクルの更なる普及と促進に向けて、関係者(工事発注者、建設工事施工者等)の意識啓発と建設リサイクルの推進に有用な技術情報等の周知・伝達、技術開発の促進及び一般社会に向けて建設リサイクル活動の取り組みをPRすることを目的として開催します。

### ● 開催日時

平成28年10月5日(水)10:00～17:00

平成28年10月6日(木) 9:30～16:00

・同時開催 10月5日 2016 建設リサイクル技術発表会

・同一会場予定 10月6日 平成28年度土木研究所講演会

### ● 開催場所(入場無料)

一橋大学一橋講堂 中会議室2～4

東京都千代田区一ツ橋 2-1-2 学術総合センター内 2F

### ● 来場予定者

国及び地方公共団体職員、建設コンサルタント、建設会社、建設資材関連会社、大学生、高校生、一般の方等。

### ● 実施内容

パネルや印刷物資料、映像、また実物資材等により、建設リサイクルに係わる先進的な取り組みや新技術等の紹介、展示。

### ● 技術分野

取り組み・技術の内容(テーマ)は以下の通りとします。

①発生抑制 ②リ・ユース ③再生資材

④CO2削減 ⑤「レガシー」

⑥東南アジア等開発途上国の建設リサイクル推進に寄与

⑦その他(①～⑥以外で全国そして世界へ発信するに

ふさわしい取り組み・技術)

### ● 技術発表会の提案募集

出展者募集と同時に、技術発表会の提案募集を行っております。詳細は、右記ホームページをご確認ください。

## 2. 出展募集概要

### ● 新技術展示会

#### ◇出展者

・建設リサイクル分野に係わる取り組みやその他新技術等を出展できる者

#### ◇出展者技術の紹介

・展示ブースでパネル掲示ほかによる新技術等の紹介及び、ガイドブックに掲載します。ガイドブックは1小間あたり半ページで技術を紹介する冊子です。(詳細は出展者説明会でご案内します)

#### ◇展示ブース

【小間】 間口約2.7m×奥行約2m×高さ約2.1m

【会場備品】 テーブル(白布付き)×1基、イス×2脚

【装飾品】 ブース仕切り板(パーテーション)、社名板

### ● 申込方法と提出先

・必要とする小間(区画)数を事前にお申し込みください。(事前にお申し込みのない場合は出展できません)

※出展申込方法は、所定の出展申込書に必要事項をご記入の上、下記申込書提出先Eメール宛に送信願います。

※Eメールの表題に「2016 建設リサイクル技術展示会出展申込書」と入力して送信願います。

※申込書は、下記URL(広報推進会議ホームページ)からダウンロードできます。

※Eメール以外で申込みを希望される場合は、事務局までご相談ください。

**申込期限 平成28年6月17日(金) 必着**

### ● 出展申込みの受付・出展者説明会の開催

・提出いただいた申込書に基づき、先着順で出展者を受付します。

※会場スペースの関係で申込みの内容通りに承認できない場合があります。また、先着順での受付のため、会場スペースの関係上、受付を期限内に締めきらざるを得ない場合がありますので、ご了承願います。

・受付後に出展費用の振込方法、出展方法の詳細をご案内する説明会の開催を予定しております。

**出展者説明会 日時:平成28年7月13日(水) 午後**

**場所:(一財)先端建設技術センター-会議室**

### ● 出展費用

・以下に示す出展費用を、支払期日までに全額振込みいただきます。(振込み手数料は出展者のご負担となります)

<出展費用の料金>

単位	出展費用
1小間あたり	7万円(消費税別途)

**\*お支払い期日 平成28年8月末日まで**

・角(かど)ブースをご希望される場合は、申込用紙にその旨を記載願います。角ブースのお申込が多数の場合は、先着順で決めさせていただきますのでご了承願います。

・会場の都合により小間(区画)数を調整させていただくことがあり、ご希望に添えない場合があります。

※原則として、振込み後に出展申込みを取り消す場合、出展費用の返還はいたしかねます。

・その他、展示ブース内の装飾、備品等は、別途各出展者のご負担となります。オプション照明器具や実演に要する電気料、配線工事費用についても出展者ご負担となり、別途料金が発生します。こちらについては、展示会終了後の精算払いとなります。

**(お支払期日 平成28年10月末日まで)**

### ● その他

・上記に記載のない事項については、裏面「補足事項説明書」をご確認願います。また、建設リサイクル技術発表会・技術展示会については、ホームページ等でご確認願います。

### ○申込書提出先及び問い合わせ先

建設副産物リサイクル広報推進会議

事務局:(一財)先端建設技術センター 担当:関根、松坂

TEL.03-3942-3991

E-mail [kensetu-fukusan@actec.or.jp](mailto:kensetu-fukusan@actec.or.jp)

URL <http://www.suishinkaigi.jp/>

〒112-0012 東京都文京区大塚2丁目15番6号

ニッセイ音羽ビル 4F

# 2016 建設リサイクル技術展示会 出展募集要領 補 足 事 項 説 明 書

この補足事項は、お申込みいただくにあたり、事前に確認していただきたい基本的事項を記載したものです。  
お申込み前に「出展募集要領」と併せて内容をご確認願います。

## 1. 展示会場

### ◆小間の基本仕様

○小間寸法／間口約2.7m × 奥行約2m × 高さ約2.1m

※システムパネルはビニールコーティング合板のため、直接装飾、加工を施すことができません。（切断・釘打ち・画鋸等穴あけなどの加工、接着用テープの使用はできません）

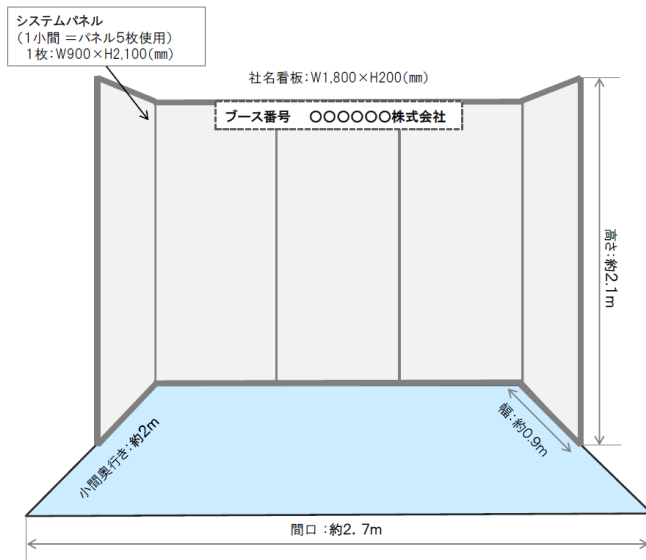
※持込みのパネルを掲示する場合は専用のワイヤーフックがありますので、ご利用ください（詳細は出展者説明会でご案内いたします）

○社名板／システムパネルの上部に「出展者名」を表記します（W1,800×H200）。

※「出展者名」とは、申込書に基づき事務局より受付された者の名称であり、これ以外の名称を記載することはできません。

○照 明／基本、会場内の天井照明のみとなります。

（アームライト等はオプションになります。事前にお申込みください）



### [留意事項]

◎隣接する小間と小間の間の袖パネルは、1枚(幅0.9m)となります。

◎展示会場の床は、エンジ色のカーペットとなっております。

◎持ち込まれる展示造形物の高さの制限はありませんが、天井高は3m、会場入口ドア寸法はH2.3m × W1.7mとなります。

## 2. 禁止行為その他注意事項

◆出展者の次の行為を禁止します。

- ①指定されたブースの全部又は一部を、第三者に有償、無償で貸与すること。
- ②指定された場所以外の展示場建物の内外部又は周辺に看板、掲示板、広告標識などを設置又は掲示すること。
- ③来場者及び他の出展者の迷惑となる行為、並びに会場内への危除物の持込など展示場建物に損害を及ぼすような一切の行為。
- ④物品・飲食物の販売、寄付金品の募集、事務局の承認を受けないで行うブース外でのチラシ・ビラ等の配布。
- ⑤公序良俗に反する製品の出展・展示・プレゼンテーション・販売・配布・会場持込等の行為。
- ⑥発火又は引火しやすいもの、火災・煙等を発するもの、著しく音響、振動、塵埃又は臭気を発するもの、施設や会場内備品を汚損、毀損する恐れのあるものの持ち込み。特に、光、熱、臭気、大音量等を発生させる行為は認められません。

## 3. その他

- ①出展申込みは、Eメールにて、所定の申込書を下記申込書提出先へ送信してください。
- ②出展費用の振込手数料は、出展者のご負担となりますのでご了承ください。
- ③天災その他不可抗力により展示会を中止することがあります。その場合、準備等に要した費用を差し引いた上で出展料金を返金します。ただし、それ以外に生じた損害の補償はできませんので予めご了承ください。

### ○申込書提出先及び問い合わせ先

建設副産物リサイクル広報推進会議

事務局：(一財)先端建設技術センター 担当：関根、松坂

TEL.03-3942-3991

E-mail [kensetu-fukusan@actec.or.jp](mailto:kensetu-fukusan@actec.or.jp)

URL <http://www.suishinkaigi.jp/>

〒112-0012 東京都文京区大塚2丁目15番6号

ニッセイ音羽ビル 4F

<2016 建設リサイクル技術展示会は、技術発表会と同時開催になります>



# 2016 建設リサイクル技術展示会 出展申込書

2016 建設リサイクル技術展示会出展要領に同意のうえ、下記の通り申込書を提出します。

## 1. 出展申込者

会社名 または 団体名	出展申込者の正式な社名・団体名を記載してください			
	フリガナ(半角)			
出展者名 ※ブースの 社名板等に 表記するもの	上記名称とブースの社名板やガイドブックに記載する名称が異なる場合は、本欄に記載してください			
	フリガナ(半角)			
担当者	本技術展示会に関する窓口となる方を記載してください			所属部署
			フリガナ (半角)	
	E-mail			役 職
	所在地	〒	※ハイフンも入れ半角でご入力ください (例)〒112-0012	
	TEL			FAX
所属する 構成団体  (該当欄に ○を記入)	北海道地方建設副産物対策連絡協議会		(一財)建設業振興基金	
	東北地方建設副産物対策連絡協議会		(一財)日本建設情報総合センター	
	関東地方建設副産物再利用方策等連絡協議会		建設廃棄物協同組合	
	北陸地方建設副産物対策連絡協議会		(一財)経済調査会	
	中部地方建設副産物対策連絡協議会		(一社)建設コンサルタンツ協会	
	建設副産物対策近畿地方連絡協議会		(一財)建設物価調査会	
	中国地方建設副産物対策連絡委員会		(公財)産業廃棄物処理事業振興財団	
	建設副産物対策四国地方連絡協議会		(株)建設資源広域利用センター	
	九州地方建設副産物対策連絡協議会		(一社)住宅生産団体連合会	
	沖縄地方建設副産物対策連絡協議会		東京建設廃材処理協同組合	
	建設六団体副産物対策協議会		(一財)土木研究センター	
	(一社)日本建設業連合会		(一社)日本アスファルト合材協会	
	(一社)全国建設業協会		(公財)日本産業廃棄物処理振興センター	
	(一社)日本建設業経営協会		(公社)全国解体工事業団体連合会	
(一社)全国中小建設業協会		(公社)全国産業廃棄物連合会		
(一社)日本道路建設業協会		(一財)先端建設技術センター		
(一社)日本建設機械施工協会		その他		
出展者の過去出展回数(☑レ点記入)		<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 1~3回 <input type="checkbox"/> 4回以上		
出展者の本社本店本部等の所在地(都道府県)				

## 2. 出展ブース

ブース	必要小間数	角ブース希望	※角ブース希望欄が未記入のものは、「希望無し」とさせていただきます ※お申込みをいただいても、ご希望に添えない場合がありますのでご了承ください
1小間あたり 間口2.7m×奥行2m×高さ2.1m			

展示品の内容(内訳の該当する部分にチェック(☑)を入れ、数量等を現在の分かる範囲で記入願います)				
内訳	数量	単位	サイズ	内容
<input type="checkbox"/> パネル		枚		
<input type="checkbox"/> 模型		個		
<input type="checkbox"/> 実物		個		
<input type="checkbox"/> サンプル		個		
<input type="checkbox"/> ビデオ		台		(使用電力 kwh)
<input type="checkbox"/> パソコン		台		(使用電力 kwh)
<input type="checkbox"/> その他		台		

## 3. 事務局あて連絡事項

通信欄	事務局記入欄

※1:(個人情報の取扱いについて) ご記入いただきました個人情報は、本技術展示会出展に関わる各種ご案内等に利用させていただきます。法令に基づく場合を除き、ご本人の同意を得ることなく他に利用又は提供することはありません。

#### 4. 出展技術の概要書

会社名または 団体名			
担当者名			
出展技術分野：取り組み・技術の内容(テーマ)			
(該当するものに ○を記入。 但し、複数該当す る場合は、主なも のに◎を記入。)	① 発生抑制		⑤ 「レガシー」
	② リ・ユース		⑥ 東南アジア等開発途上国の 建設リサイクル推進に寄与
	③ 再生資材		⑦ その他 (①～⑥以外で全国そして世界へ発信 するにふさわしい取り組み・技術)
	④ CO2 削減		
<b>技術の概要</b>			
① どのような工事に用いられる技術か(工法の概要)。			
② 建設リサイクルとの関わりを含めた技術の特徴とその効果(2枚目に概要がわかる写真等を添付してください)。			
③ 工法の用途など。			
④ 施工工程例。			
⑤ 公的評価や表彰などあれば、ご記入ください(年度、機関、タイトル)。			
⑥ 工事实績(あれば、ご記入ください) (公共事業：国交省 件、その他公共機関 件、民間等 件) (発注機関名、工事件名、工期 [最近の工事实績から最多3件を記入])			

※2: 技術の概要は、自由に幅を広げて記述可能ですが、最大2枚とし、2枚目には技術の概要及び特徴が分かる写真等を添付してください。

## 2016 建設リサイクル技術展示会

### 出展分野について

2016 建設リサイクル技術展示会に出展するにあたり、下記の技術分野区分を参考に「出展申込書」へご記入をお願いいたします。

#### 出展技術分野：取り組み・技術内容(テーマ)

##### ①発生抑制

建設副産物発生量の抑制に資する取り組み・技術。現場内利用による現場外搬出量削減の取り組み・技術も対象とする。

##### ②リ・ユース

建設廃棄物を再使用（リ・ユース）する取り組み・技術。

##### ③再生資材

建設廃棄物を原材料とする新たな再生資材の技術開発、従来は新材を使用していた用途への再生資材の利用等、再生資材の利用拡大に資する取り組み・技術。

##### ④CO2削減

特に CO2 削減効果が高い取り組み・技術。

##### ⑤「レガシー」

東京オリンピック・パラリンピック等注目される事業の「レガシー」として世界へ発信するのにふさわしい取り組み・技術。

##### ⑥東南アジア等開発途上国の建設リサイクル推進に寄与(建設リサイクル技術海外展開)

東南アジア等開発途上国の建設リサイクル推進に寄与できる取り組み・技術。相手国の状況に応じて、日本の建設リサイクルへの取り組み・技術を改良したものを含む。既に海外で実績があるものに加えて、今後実施可能と想定されるものも含む。

##### ⑦その他

上記以外で全国そして世界へ発信するにふさわしい取り組み・技術。